

教育研究業績書

2018年11月08日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：宗岡 千晴

研究分野	研究内容のキーワード
在宅看護学	精神科訪問看護
学位	最終学歴
修士（看護学）	大阪市立大学大学院看護学研究科 臨床看護学分野 精神看護学領域専攻 前期博士課程終了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要

1 教育方法の実践例		
1. 在宅看護学Ⅱ 在宅酸素療法に対する援助	2018年7月6日	医療機器メーカーによる在宅酸素療法、非侵襲的換気療法の講義を行い、在宅酸素療法や非侵襲的換気療法の仕組みについて学習。また、在宅療養者が実際使用する在宅酸素機器や、人工呼吸器（非侵襲的換気療法）を展示し、在宅における酸素機器や人工呼吸器の管理方法を学習した。このような医療機器を持ちながら日常生活を送る在宅療養者をイメージしてもらった。人工呼吸器（非侵襲的換気療法）のマスクの装着体験では、陽圧換気の実際を体感し、在宅療養者の気持ちを理解してもらった。
2. 在宅看護学Ⅱ 看護過程の展開	2017年7月2018年8月	在宅看護学の教員が作成したICFシートを用いて、学生はグループワークで設定事例の看護過程の展開を習得した。グループワークで学生がディスカッションを行い、学生が事前に作成したICFシートの内容がより学び深いものになるよう、ディスカッションを見守りながら適宜必要な助言を行った。
3. 在宅看護学実習	2017年10月～現在	学外実習にて実習施設（訪問看護ステーション）の引率、実習指導を行った。学生の主体性に目を向け、学生個々の学習状況に応じて実習記録の指導を行った。また、実習施設の指導者と関わり実習環境の調整を行った。
4. 県立宝塚高校 看護とケア「便も尿もすっきり出そう」	2017年09月07日2017年09月21日	これから看護師を目指す高校生7名に排泄の援助についての講義を行った。工夫点は、看護師の仕事を身近に感じてもらい、分かりやすく楽しさを伝えられるように、自分の看護師の経験談を交えながら講義した。まずは尿や便が体の仕組みからどのように作られるのかなど排泄の仕組みについて講義し、排尿と排便の異常について説明した。排便の異常の例として便秘を挙げ、便秘になるには様々な原因があり、なぜ便秘になるのかその原因を考えることが看護では必要であると伝えた。また、音楽に合わせて生徒と便秘体操を行い、楽しく気軽に便秘予防ができる方法を伝えた。排泄援助方法では、オムツのあて方を指導し学生に風船をモデルに使ってオムツをあてる体験してもらった。オムツを使うことは必要最低限であり、患者さんの尊厳を大切にすることが重要であると伝えた。排泄の環境について、安全でプライバシーが守れる環境について生徒たちと考え合った。
5. 在宅看護学Ⅱ 在宅生活における栄養管理Ⅲ 栄養管理の実際（胃ろう）	2017年05月26日	在宅看護学Ⅱにて、在宅における胃瘻管理方法の演習を企画・実施した。作成した胃瘻モデルを使って胃瘻カテーテルのバルーンの固定状態の確認、胃瘻部の洗浄など胃瘻の処置方法についてデモンストレーションを行い、その後学生に看護師役と療養者役を交代で体験してもらい、胃瘻管理方法を習得された。演習の工夫点は、教員が作った胃瘻モデルを療養者役に装着してもらい、実際の看護現場でのケアに近い方法でケア方法を習得できるようにしたところである。

2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 看護師免許	2003年4月11日～現在	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		

職務上の実績に関する事項				
事項	年月日	概要		
3 実務の経験を有する者についての特記事項				
1. 2018年度 家族療法基礎講座	2018年5月20日～現在	一般社団法人日本家族療法学会主催「家族療法基礎講座」(全9回)に受講中である。家族療法の基礎理論と歴史から様々なセラピーの特徴や技法について学んでいる。		
2. 看護師国家試験分析レポート&受験指導対策セミナー2017・春 受講	2017年4月2日			
3. 看護教員実力アップセミナー2016 臨床判断力につながる「経験から学びを引き出す」教育技法 受講	2016年8月28日			
4. 訪問看護基礎講座～思い切って一歩～ 研修修了	2016年6月18日2016年6月19日			
5. 公益財団法人 日本訪問看護財団 訪問看護サミット2016 訪問看護の見える化 受講	2016年11月27日			
6. 兵庫医科大学病院看護部研修 実践型学習研修修了	2015年10月31日			
7. 厚生労働省 平成24年度 精神科訪問看護従事者養成研修事業 みんなで取り組む精神科訪問看護セミナーⅡ修了	2013年2月24日から2013年2月25日			
8. 全国訪問看護事業協会フィジカルアセスメント研修修了	2012年10月			
9. 第47回臨床呼吸器機能講習会全過程修了	2007年8月28日から2007年8月31日			
10. 京都大学医学部付属病院看護部研修レベルアップA在宅ケアコース修了	2006年12月21日			
11. エンゼルメイク研究会研修修了	2004年10月31日			
4 その他				
1. 大学運営等に関する事項	2018年2月10日から2018年2月11日	一般入試B試験監督		
2. 大学運営に関する事項	2017年8月12日、2018年10月7日	オープンキャンパスで実習室体験と実習室説明を担当。展示物や実習室で学ぶことができる看護について説明した。		
3. まちの保健室プロジェクト	2017年4月～現在	子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象として地域住民の心身の健康、子育て、生活習慣病予防、介護などの様々な不安や悩みに対し気軽に話せる場を提供し、健康に関する相談に応じることを目的としている。		
4. 大学運営に関する事項	2017年11月4日	公募制推薦入試試験監督		
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
3 学術論文				
1. 精神障がいをもつ人が思いを表出する意味(査読付)	単	2015年6月30日	日本精神保健看護学会誌、24・1,83-89	地域生活事業所に通所する精神障がいをもつ人へ半構造化インタビューを行った。分析は帰納的に行い、思いの表出に焦点を当てた個々のライフストーリーを描き出し、精神障がいをもつ人が思いを表出意味について考察した。
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 在宅療養者を介護している家族のレジリエンス尺度の検討	共	2017年9月	日本家族看護学会第24回学術集会、p.112	新田紀枝、大田暁子、久山かおる、前田由紀、宗岡千晴
2. 在宅で療養者を介護している家族のレジリエンスに影響する要因	共	2017年9月	日本家族看護学会第24回学術集会、P.113	久山かおる、新田紀枝、大田暁子、前田由紀、宗岡千晴
3. 外来がん化学療法を受ける訪問看護利用者とは家族に対する熟練看護師による看護ケアの分析	共	2017年11月	第7回日本在宅看護学会学術集会、p.85	畑中文恵、新田紀枝、久山かおる、宗岡千晴
4. 在宅療養者のレジリエンス尺度の検討	共	2017年11月	第7回日本在宅看護学会学術集会、p.86	新田紀枝、大田暁子、久山かおる、前田由紀、戸石未央、畑中文恵、秋山正子、阪上由美、宗岡千晴
3. 総説				
4. 芸術(建築模型等含む)・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
1. 精神障害者の家族が訪問看護を受け入れるプロセス	単	2018年3月19日～現在	平成29年度科学研究費補助金学内奨励金研究	本研究は、精神科訪問看護を利用する精神障がい者の家族の語りを通して、家族が訪問看護を受け入れるプロセスを明らかにすることを目的にしている。
2. 在宅療養者と家族のQOLに影響するレジリエンスの解明と在宅療養支援モデルの構築	共	2015年4月20日	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究C 課題番号：15K11831[分担]	本研究は、在宅療養者とその家族のレジリエンスの要素を明らかにし、在宅療養者および家族のQOLに影響を与えるレジリエンスとそのレジリエンスの強化のための在宅療養支援モデルを検討することを目的にしている。

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2018年3月17日	日本看護研究学会第31回近畿・北陸地方会学術集会 協力員
2. 2017年6月11日	第19回日本母性看護学会学術集会 実行協力員
3. 2016年9月3日、2016年9月4日	第15回アディクション看護学会 実行協力員